

旭川医科大学産婦人科・関連病院の臨床研修



救命救急センターを有する道北三次医療圏の地方センター病院であり、旭川医科大学産婦人科の関連施設でもある「名寄市立総合病院」で勤務されている・されていた先生方にお話を伺いました。

22期 野澤 明美 (旧姓 松浦) 産婦人科専門医、細胞診専門医

43歳で、3歳(年少)、8歳(小3)、12歳(中1)の3人の子持ちです。

夫は耳鼻科医で同じ病院で働いています。今は子供が小さいため時短勤務(週24.5時間)で働かせてもらっています。

外来業務が多いですが手術に入ることもあります。

当院では産婦人科専門医、細胞診専門医、腹腔鏡技術認定医などの資格を取得することが可能です。

年に2~3回は全国学会に参加し最新の知見を勉強するよう心がけています。

仕事と家庭の両立は大変ですが、大学から出張の先生を送っていただいたり、家族に協力してもらいながら何とかやっています。

子供たちは地域に溶け込んでおり、緑豊かな田舎の暮らしを楽しんでいます。

名寄市は住みやすさで北海道第2位に選ばれたこともあり、子育てするにはとても良い環境ですよ。

3年前に思い切ってマイホームを建てました。週末は庭でバーベキューをしたり家庭菜園を楽しんでいます。

名寄では今まで多くの先生方が研修しています。皆さんも是非一度名寄にいらしてください。

スタッフ一同お待ちしております。



細胞診スクリーナーさんとのカンファレンスにて(写真右から2番目)

29期 岡本 修平 (旭川医大)



産婦人科専門医
細胞診専門医
がん治療認定医
内視鏡学会技術認定医

名寄は腹腔鏡手術を熱心に取り組んでいる施設です。十分な症例数、ビデオカンファレンスでのフィードバックも行うことが出来、しっかりとした教育体制のもとで、余裕を持って内視鏡技術認定医の資格を取得しました。

更なる技術の向上の為、がん研有明病院への国内留学にも繋げる事も出来ました。

33期 杉山 沙織 (旧姓松尾)

産婦人科専門医

4月から育休明けで復職しています。

子どもは今8ヶ月で、病院附属の保育園に預けています。育児と仕事の両立は大変なときもありますが、育休中より仕事復帰をした生活の方が自分には合っていると思います。

夫は同じ病院の小児科医で、夫が休みの日に月1、2回私も当番を始めています。



腹腔鏡手術のビデオカンファレンス(写真中央)

地域枠制度奨学金を利用して



ご主人(研修医1年目、整形外科入局)と
・名寄へは、大学のたすき掛け制度を利用して1年勤務予定(2年目は大学)
・夫が私に合わせる形で勤務地を調整してくれました

38期 津村 亜依 (旧姓 松田) 後期研修医(3年目)産婦人科専攻医

産婦人科では奨学金を貰っていても3-4年目、7-9年目も周産期母子科のある病院に必ず勤務することができます。

私は3年目でお産も手術も沢山ある病院勤務で、4月からの帝王切開に始まり、毎週執刀させて貰っています。

その上研修医の夫と勤務地を合わせて頂き、ワーク・ライフどちらも充実して働いています。

連絡先 金井 麻子(医局長) E-mail asakana@asahikawa-med.ac.jp
ご協力いただきました先生方、ありがとうございました!!

